


審査結果報告書

平成 28 年 8 月 9 日

主査 氏名 海野 信也 

副査 氏名 岡本 浩嗣 

副査 氏名 林 俊治 

副査 氏名 宮地 盤 

1. 申請者氏名 : DM12009 大岡 麻理

2. 論文テーマ :

Changes in neonatal microbiota distribution influenced by the environment of the neonatal intensive care unit in the first month of life
(新生児集中治療室(NICU)環境の影響による生後 1 か月の新生児腸内細菌叢の変化)

3. 論文審査結果 :

申請者は、これまで詳細がわかっていない新生児期における腸内細菌叢の獲得過程、特に出生後長期間新生児集中治療室(NICU)で全身管理を受けた新生児の腸内細菌叢の形成過程を明らかにすることを目的に研究を行った。正常新生児 42 例及びNICU入院児 48 例の生後早期及び日齢 30 前後の便検体を採取し、DNA を抽出後 16SrRNA PCR 法を用いて主要な腸内細菌である(Bifidobacterium, Enterococcus、Enterobacteriaceae)及び重症感染症を起こすことがある Staphylococcus aureus について定量的解析を行い、新生児期の腸内細菌叢の獲得過程における臨床的因子の影響について検討を行った。その結果、分娩様式、抗菌薬治療、挿管人工呼吸管理などの臨床的因子が新生児期の腸内細菌叢形成に影響を与えていることが明らかとなり、さらに全身状態、外科的手術などによる不十分経腸栄養は腸内細菌叢のバランスを大きく崩す可能性が示唆された。

審査の際の発表及び質疑応答の内容は適切であり、学識、人格ともに医学博士の称号にふさわしいと判断された。